

LPガスCP速報(2020年1月積)

1. 1月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **565** ドル (前月比+125 ドル)

ブタン **590** ドル (前月比+135 ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が上昇するなか、サウジの減産により契約数量下限を余儀なくされたうえ、中国、インド、東南アジアの需要は堅調、需給が引き締まりスポット価格が急騰した。CP先物は右肩上がりの続伸、極東CFR市況は第3週末にプロパン575 ドル 、ブタン640 ドル に達した。

全米プロパン在庫は、需要期を迎えたうえ輸出が堅調、在庫は減少が続いたが前年同期を25%上回り過去5年平均の上部。米モンベルビュープロパンスポット価格は、原油市況の上昇に反して軟化、年末には215 ドル まで急落、月間平均でも前月比20 ドル 下げの260 ドル どころ。

フレート市況はサウジの減産等の影響もあり傭船需給は緩和、米国周りは濃霧の影響が懸念されるなか、クリスマス休暇など第3週は市場が閑散、70 ドル 台を割り込んで推移した。

ナフサは原油市況の高騰を受け上昇、4月以来の高値を付けており、月間平均は570 ドル 、前月比27 ドル の上昇。

バンカーオイルは、IMO対策もありC重油は続落、IFO380は月間平均で前月比2 ドル 安の335 ドル どころとなったが、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は48 ドル 上げの628 ドル どころ、C重油との格差は293 ドル に広がった(グラフ①)

1月CPは前年同月比プロパン135 ドル 、ブタン170 ドル 高。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン18、ブタン20ポイントそれぞれ上昇、前年同月比ではプロパン11ポイント、ブタン18ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	67.7	70.2	67.3		
CP先物指標：P	445	475	525		
CP先物指標：B	465	500	550		

② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、12月は月間5 ドル 超の上昇となった。OPECプラス会合で1~3月に現行減産目標を50万b/d拡大し170万b/dとすることが決定されるとともにサウジが自主減産40万b/d継続を表明、実質210万b/dの減産幅となることが評価され。また、米中通商協議「第1段」合意署名への期待により米株価が最高値を更新、リスク回避の動きが後退した。年末には米がイラク、シリアのヒズボラの拠点を空爆、米大使館に対するデモが行われるなど中東リスクが増大した。(追伸、年明け後、米はトランプ大統領の指示によりイランのソレイマニ司令官を殺害、イランは報復を宣言し、緊張が高まっている)

一方、米国内原油生産量は1,290万b/dの過去最高を更新したが、製油所稼働率が上昇、原油輸出は462万b/dの過去最高を記録し、在庫は減少、ネット輸出も173万b/dに達した。米石油リグ稼働数は減少、直近で前年同期を207基下回る670基となり2017年4月以来の水準で原油市況を下支え。CFTC発表の大口投機玉の買越残高は24日時点では550千枚に増加、総取組高は26日時点で219万枚。米株価が最高値を更新しリスクオンの状態となっている。

○12月積みアラビアン・ライト(12月1~30日の想定)は68.70 ドル (前月比+3.31 ドル)

熱量等価AL100% プロパン563.27 ドル/トン ブタン555.54 ドル/トン

AL比 プロパン100.31% ブタン106.20%

*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

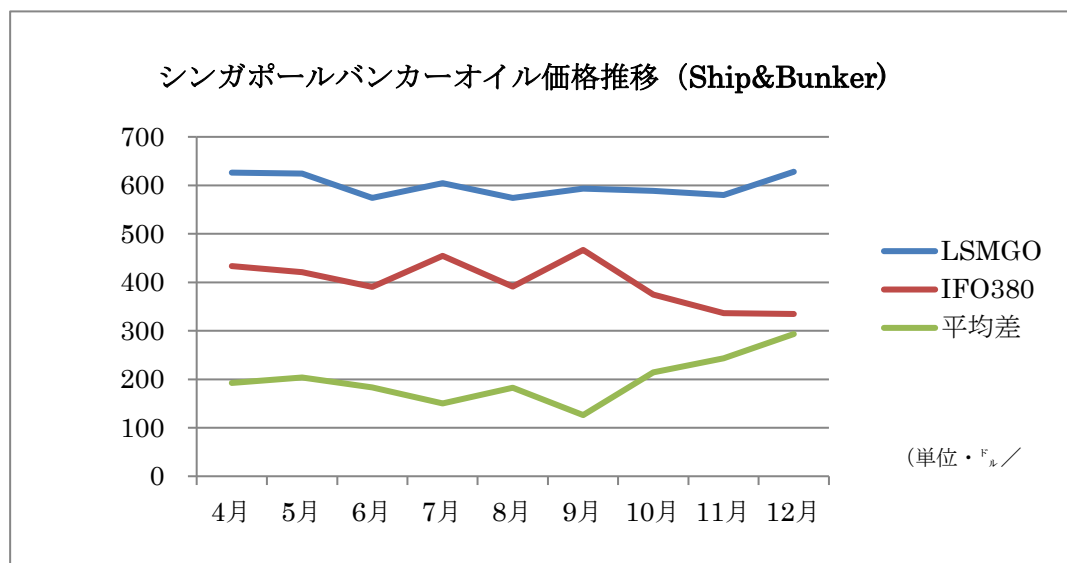
2. 2020年1月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	110.09	62,100	64,300	58,760	+7,500	+8,000	+5,200
②末日締め	110.24	55,400	57,600	50,900	+7,600	+8,100	+4,800

*TTS平均について、①が11月21日～12月20日、②12月1～31日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは12月26日までの価格を基にEINで試算（263^{ドル/トン}）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

① シンガポールバンカーオイル価格推移



② WTI 価格推移と大口登記玉買い越し残高

